

各位

金蘭千里中学校

本校入学者選抜試験問題に関するお願い

昨今、教育現場における著作権の在り方が議論されています。本校も、著作権法に基づいた著作物の適切な運用と管理に取り組んでいます。

本校の入試問題の利用につきましても、下記の点にご留意いただき、適切なご利用をお願いいたします。

記

1. 本入試問題の著作権は、本校に帰属します。複製の作成は、事前に申告いただいた場合のみ許諾します。
2. 本入試問題で引用している文学作品等の第三者の著作物は、関係団体を通じて、引用の許諾申請を行っています。

以上

令和7年度中学入試

【後期C 入試】

国語科 問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2. この問題冊子は、表紙を含めて20ページあります。

試験中に、印刷がはっきりしなかったり、ページの乱れや抜け落ちに気づいたりした場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。

3. 解答用紙は別に配布されます。解答はすべてその解答用紙に記入しなさい。

4. 問題冊子の余白等は下書きなどに利用してよろしいが、どのページも切り離してはいけません。

5. 試験開始後すぐ、大問1のリスニングの音声流れ始めます。

【後期C 入試】 受験番号 _____

金蘭千里中学校

【ここにメモをとってもかまいません。】

① 音声をきいて、設問に答えなさい【音声は2回読み上げられます】。

問1 ア 住みかであってほしい イ 住みかであるべきだ
ウ 住みかであることよ エ 住みかだろうか

問2 ア 季節を問わず咲いている花 イ 海辺の花
ウ いつも見慣れている花 エ 海の中に咲いている花

問3 【^{せんたくし}選択肢も読み上げられます】

問4 次のア～カの歌詞はそれぞれ「我は海の子」の何番の歌詞か、漢数字でなく数字（2～7）で答えなさい。

[参考] → (1) 番

我は海の子白浪の ^{しらなみ} 騒ぐいそべの松原に
^{けむり} 煙 たなびく【注1】 ^{とまや} 苦屋こそ ^{なつ} 我が懐かしき ^{すみか} 住家なれ

【注1】苦屋…苦屋根をふいた粗末な小屋

[ア] → () 番

いで ^{おおぶね} 大船を乗出して 我は【注2】 ^{ひろ} 拾わん海の富
いで ^{ぐんかん} 軍艦に乗組みて 我は ^{まも} 護らん海の国

【注2】拾わん…拾おう

[イ] → () 番

浪にただよう【注3】 ^{ひょうざう} 冰山も 【注4】 ^{きた} 来らば ^{きた} 来れ ^{おそ} 恐れんや
海【注5】 ^{たつまき} まき上ぐる ^{おどろ} 竜巻も 【注6】 ^{おどろ} 起こらば ^{おどろ} 起これ ^{おどろ} 驚かじ

【注3】冰山…氷山 【注4】来らば来れ恐れんや…来るなら来い、恐れないぞ

【注5】まき上ぐる…巻き上げる 【注6】起こらば起これ 驚かじ…起こるなら起これ、驚かないぞ

[ウ] → () 番

【注7】 ^{いくとせ} 幾年ここに ^{きた} 鍛えたる 鉄より ^{かいな} 堅き【注8】 ^{かいな} かいなあり
吹く ^{いくとせ} 塩風に【注9】 ^{きた} 黒みたる 肌は【注10】 ^{しやくどう} 赤銅 ^{うで} さながらに

【注7】幾年…何年も 【注8】かいな…腕

【注9】黒みたる…黒くなっている 【注10】赤銅 さながらに…一面茶色である

[エ] → () 番

高く鼻つくいその香に ^{ふだん} ふだんの花のかおりあり
なぎさの松に吹く風を 【注11】 ^{いみじき} いみじき ^{うた} 楽とわれは聞く

【注11】いみじき楽…すばらしい音楽

[オ] → () 番

生まれてしおに【注12】 ^{ゆあみ} ゆあみして ^{なみ} 浪を ^{こまご} 子守の歌と聞き
千里寄せくる海の気を ^{わらべ} 吸いて ^{わらべ} 童となり ^{にけり} にけり

【注12】ゆあみ…入浴

[カ] → () 番

【注13】 ^{じょうよ} 丈余の ^{あやつ} ろかい ^{さだ} 操りて 【注14】 ^{さだ} 行く手 ^{さだ} 定めぬ ^{なみ} 浪まくら
【注15】 ^{ももひろちひろ} 百尋千尋海の底 ^{にら} 遊びなれたる ^{にら} 庭広し。

【注13】丈余のろかい 操りて…長さ約3メートルで和船を操作するための道具を操作して

【注14】行く手定めぬ浪まくら…行き先を決めない宿泊をとまなう船旅

【注15】百尋千尋…海がとても深い

② 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。問題に字数制限のあるものは、すべて句読点や記号も一字とする。

私たちは、時間はすべての人に共通していて、客観的に存在していると思っ
ています。だって、人ごとに時間が違っていたら、学校の時
間や待ち合わせ時間が決められないし、電車や a シンカンの時刻表も意味がなくな
ってしまおうでしょう。でも、本当にそうなのか、と
疑った人がいました。有名な①アインシュタインです。アインシュタインは、時
間が規則的に流れていることは疑わなかったのですが、み
んなが同じ時間を共有しているのだろうか考えたのです。そのために私たち
がどのようにして時間を合わせているかをじっくり考え、人
が運動していると時間が流れる速さが異なっているということを見
つけました。時間が伸び縮みしていて、人ごとに違った速さで動く時計
を持っているのです。もっとも、その差はとても小さいので普段の私
たちが気づくことはないのですが、動く速さが光の速さに近づくとそ
の差が大きくなることを予言し、実験で確かめることに成功しました。

また、ハツカネズミは一日中せかせかと走り回り、ハチは一秒間で三〇〇回も羽ばたきます。私
たち人間は、あんなに素早く行動できま
せん。ところが、ゾウやウシはゆっくり歩き悠然と食べ物食べています。見ていて、なんだか
「A」感じがしますね。人間に比べて、
ハツカネズミやハチの時間は速く流れ、ゾウやウシの時間はゆっくり流れているかのよう
です。実際、一秒間あたりに打つ心臓の鼓動の数を調べてみると、ハツカネズミやハチの鼓動の数は多く、ゾウやウシは少ないことがわかりました。すると、動物ごとに時間の流れる速さが違い、それぞれ違った時間感覚で生きているのかもしれない。一方、宇宙は一三七億歳だとか、地球は四六億歳だということを耳にします。また、生命は三八億年前に生まれ、恐竜は六五〇〇万年前に絶滅した、という話も知っていると
思います。私たちの人生はたかだ
か一〇〇年ですから、②億年や万年という長い時間を聞いてもピンときません。ましてや、そんな長い時間をどうして測ったのか、なぜ信用できるのか、疑問に思ってしまう。私たちの普通の時間感覚とずれているからです。時間というものには、日常の中で感じ取る時間と歴史的に積み上げられた時間があると思われ
ます。億年という時間は長すぎて感じ取るとい
うわけにはゆきませんが、順々に証拠を示されると長い時間が経過したことがわかります。人間は、時間を客観的に捉えることもできるのです。人間以外の動物は今という時間だけを生きているように見えますが、③人間は過去に流れた時間を復元することができ
る唯一の動物ということができるでしょう。

(中略)

④ 現代は、時間がどんどん加速されているとも言われます。何事にも「早く、早く」とせかされ、時間と競争するかのよう
に忙しさに追われていることを、大人たちはこうい
う言い方をしているのです。いつも同じ速さで時間が流れているはずなのに、時間の間隔が短くなったよ
うな気分
で追い立てられているためでしょう。それを(注)エンデは『モモ』という作品の中で「時間【B】」と呼びました。

ゆっくり花を見たり音楽を楽しんだりする、そんなゆったりした時間が盗まれていく、という話でした。いつも何かしていないと気が落ち着かない、現代人はそんなふうになっています。

その一つの原因は、世の中が便利になり、bノウリツ的になって、より早く仕事を仕上げるのがより優れていると評価されるようになっていたためと思われる。競争が激しくなって、人より早くしなければ負けてしまうという恐れを心に抱くようになったためでしょう。「時は「C」なり」となってしまったのです。

しかし、それでは心が貧しくなってしまうそうです。何も考えずにひたすら決められたことをして人生が楽しいはずがありません。ゆっくり歩むからこそ、道ばたに咲く花に気づいたり、きれいな夕日を楽しむ気分になれるのです。私たちは、時間を取り返し、もっとゆったりした時間を生きる必要がありますね。

映画や芝居を見ている間、実際とは違う時間の流れを経験していることに気づきます。たった一時間の映画で一年間の物語や一〇年の変化が描かれていても、それをすんなりと受け入れているからです。あるいは、江戸時代の日本や一八世紀の西洋の話でも、いつの間にか主人公の気持ちになって同じ時間を過ごしていることもあります。現実の物理時間から解放されて、物語の時間にドウチヨウしているのです。

⑤この時間感覚は、私たちの頭に想像するという働きがあつて、知らぬ間に、主人公の気持ちを推測したり、あななって欲しいとか、こうするのではないかと推理したりしていることで生まれるものです。これは人間が持つ素晴らしい能力で、人の気持ちを思いやったり、友達を元気づけたりしたいという心に通じています。時間を超えて想像することは人間らしい心の作用と言えるでしょう。

夜眠っているときにしばしば夢を見ます。なぜ夢を見るのかよくわかっていませんが、きつと、昼間頭に入ってきたさまざまな事柄をdセイリしているのでしょう。夢を見ることを禁ずると(睡眠実験中に、夢を見始めると目がぐるぐる動いたり、脳波が変化するので、そのようなことが起こり始めると目を覚まさせるのです)、精神的にまいってしまい病気になるそうです。夢を見ることは健康のためにもよいことなのです。一晚にたくさん夢を見ているようですが、ほとんど覚えていないのがふつうで、たまに一つの場面だけが頭にこびりついていたりすることもありますね。

夢のなかの時間も、現実の時間とは大きく異なっています。ずいぶん昔のことが出てきたかと思うと、さつき起こったことが繰り返し出てくることもあつて、勝手にままに時間が流れて過去や未来に自由に行き来できるのです。といつても、自分で夢や時間を選ぶというわけにはいきません。もっとも、ノーベル賞をもらった学者には、夢の中でヒントを得たという人もいます。日頃考え詰めていると、それに合わせた夢を見ることもあるでしょう。

中国に「胡蝶の夢」という昔話があります。蝶ちようになつて花々をめぐる夢を見て、さて夢を見ている方が自分なのか、蝶ちようとなつて飛んでいる方が自分なのか、わからなくなったという話です。夢を見た後、そんなことを考えたことはありませんか。また、「邯鄲の夢」という話もあります。夢のなかで大金持ちになるのですが、ふつと夢からさめて我にかえると、さつき火にかけた鍋なべがまだ煮にえていなかった、という物語です。「D」ことを知り、自分の人生を考え直すのです。こんなふうには、夢は時間を超越ちょうえつしているの、見るのが楽しみのときもあるし、怖いこわときもありますね。

夢と同じで、しかし夢ではなく、ほんの一瞬いつしゆんだけぼんやりと思つていたのに、時間が長く経たつたと感じたということはありませんか？特に、あれもして、これもして、その次にこんなことをしよう、なんて未来のことを考えているときに経験することが多いようです。あるいは、こんなことがあつて、次にあんなことが起こつて、それからまたあんなふうになつて、と過去のことを思い出す場合にも経験します。未来や過去の時間が凝縮ぎようしゆくされて、今のこの瞬間しゆんかんにかたまつて出てくるのでしょうか。

考えてみると、過去から現在、そして未来へと時間は流れていきますが、⑥現在という時間は一瞬のことで長さがありません。すぐに過去になつてしまふからです。また、未来は長いように思えるのですが、すぐにやつてきて過去になつてしまいます。現在の時点で、過去や未来のある部分が一瞬の間に頭のなかに浮うかんでくると解釈かいしゃくできそうです。時間が折かりたたまれているのかもしれませんが。

両親から叱しかられている時間はたった三分なのに三〇分にも感じられ、遊園地で遊んでいる間は三時間もあつたのに三〇分くらいにしか感じられない、という経験をたびたびしたことがあると思います。実際の物理時間は三分と三時間という大きな差があるのに、心のなかでは同じ三〇分の時間が経たつたような気になることです。これも心理時間の不思議で、⑦心の持ち方で時間の流れる速さが異なるためでしょう。叱おこられているときは、過去のいろんなことが思い出されるし、怒おこっている両親の気持ちを考えているし、早く終わつてくれなにかと願ねがっている、そんなさまざまな思いが浮うかんできて時間が引き延ばされているように感じてしまうのでしょう。遊園地で遊んでいるときは、遊びに夢中になつてしまい、アレコレ他のことを考えないため空白の時間が多くなっています。流れる時間のなかにどれくらい思いが詰まこっているかの差と言えるのではないのでしょうか（だから、叱おこられているときは何も考えずにぼんやり聞いていると時間が速く過ぎるかもしれません。といつても、ぼんやり聞いていると叱おこられる時間ももっと長くなつてしまふそうです）。

年をとつた人はよく「時間が速く経たつ」と愚痴ぐちをこぼします。みんな同じ時間を過ごしているはずなのに、子どもは時間を長く感じるのに対し、年をとるにつれ短く感じるようになるのは事実のようです。子どもの頃は、あれもしよう、これもしよう、いろいろなことをして一日を長く過ごしています。年をとると、あまり何もしないのにすぐに時間が経たつてしまふのです。

その差は、ハツカネズミとゾウの時間のところでお話ししたことに少し関係があるかもしれません。子どもはハツカネズミのように、自

分が持つている時間が速く流れる（脈拍の周期が短い）のでクルクル動き回り、忙しく時間を過ごします。年をとるにつれてゾウに近づき、時間が遅く流れるようになる（脈拍の周期が長い）ので何もしないうちに時間が過ぎ去っていくのです。むろん、脈拍の数は子どもも老人もそう大して変わらないのですが、ちよつとした差が e カクダイ^{かくだい}して時間の感覚に反映するのではないでしょうか。

あるいは、子どもの時間はさまざまなもの詰まっいて次々となすべきことがあり（だから時間が長く感じられる）、年をとると時間の空白が多くなりスカスカになっている（だから時間を短く感じる）のかもしれない。先ほどの、叱られている時間と遊園地で遊んでいる時間と同じことですね。言い換えると、何にでも興味があり、いろんなことにチャレンジすると老人の時計も速く回るようになり、若さが保たれることになりそうです。私もそんな老人になりたいと思っています。

（池内了『時間とは何か』より 一部改めたところがある）

（注） エンデ……ドイツの作家であるミヒヤエル・エンデ。代表作に『モモ』がある。

（一） 波線部 a～e のカタカナを漢字に直しなさい。

a シンカンセン b ノウリツ c ドウチョウ d セイリ e カクダイ

（二） 本文中の【A】と【D】に入る内容としてもっとも適切なものを次のア～エの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|-----------------------|---|-------------------|---|-------------------|---|--------------------|
| A | …… | ア | しらじらしい | イ | まどろっこしい | ウ | せわしない | エ | いじらしい |
| B | …… | ア | 稼 <small>かせ</small> ぎ | イ | 切れ | ウ | どろぼう | エ | つぶし |
| C | …… | ア | 金 | イ | 無情 | ウ | 命 | エ | 無意味 |
| D | …… | ア | 人間が見る夢には何の意味もない | イ | 人間は苦勞してお金を稼ぐ必要がある | ウ | 人間は欲望のままに生きてはならない | エ | 人間が栄えるのも短い間にしか過ぎない |

(三) 傍線部①「アインシュタイン」とあるが、本文中におけるアインシュタインの説明としてもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 時間はすべての人に共通していると思っっているが、本当にそうなのか、と人々に質問を投げかけた。
- イ 時間が規則的に流れていることを確かめた結果、すべての人が同じ時間を共有していると結論づけた。
- ウ 時間について研究するために、すべての人がどのようなようにして時間を合わせているかを街で調査した。
- エ 普段の私たちが気づかない程にほど小さい範囲で、時間が流れる速さが変わるということを発見した。
- オ 物体が動く速さが光の速さに近づくにつれて、時間の流れが一定になっていくことを実験で確かめた。

(四) 傍線部②「億年や万年という長い時間を聞いてもピンときません」とあるが、その理由としてもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 宇宙や地球の話をするにはあっても、何億年という単位を人間が把握することはできないから。
- イ 何億年という長い時間の計測方法が一切わからないため、本当に正確なのか信用できないと感じてしまうから。
- ウ 私たちの人生はただかだか一〇〇年に過ぎず、億年という時間は人間の普通の時間感覚と違いすぎるから。
- エ 億年という時間は長すぎて、普通の人間が一生のうちで理解できる範囲を超えてしまっているから。
- オ 動物ごとに時間の流れる速さが違っており、人間もそれぞれが違った時間感覚で生きているから。

(五) 傍線部③「人間は過去に流れた時間を復元することができない」とあるが、その説明としてもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 人間は他の動物たちとは違って、過去に流れた時間の証拠を人間同士で共有し、時間の経過を理解することができるということ。
- イ 人間は他の動物たちとは違って、日常の中で感じ取る時間と歴史的に積み上げられた時間とを区別できるということ。
- ウ 人間は他の動物たちとは違って、どれだけの年月が経っていても、いつの出来事だったかを明らかにすることができるということ。
- エ 人間は他の動物たちとは違って、証拠さえあればどんなに過去の事であっても本当の出来事だと信じることができるということ。
- オ 人間は他の動物たちとは違って、過去の記憶をたどって、いつのことであったか正確に思い出すことができるということ。

(六) 傍線部④「現代は、時間がどんどん加速されている」とあるが、その説明として適切でないものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 現代では忙しさに追われるあまり、時間をかけてより良い結果を得ようとする傾向が強くなっている。
- イ 現代も過去も同じ速さで時間が流れているはずなのに、時間の間隔が短いと思うようになっていく。
- ウ 現代の人々は結果を出すことが目的となり、いつも何かしていないと気が落ち着かない状態になっている。
- エ 現代では競争が激しくなって、人より早く仕事をしなければ負けてしまうという恐れを抱くようになっていく。
- オ 現代では何も考えずにひたすら決められたことをしなければならぬので、人々の心も貧しくなりかけている。

(七) 傍線部⑤「この時間感覚」についての説明として適切でないものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 映画館に行つて一時間で一年間分の物語や一〇年の変化が描かれていても、すんなりと理解し受け入れることができる。
- イ 古い昔話や外国の話であっても、いつの間にか主人公の気持ちになり、同じ人間として共感することができる。
- ウ 物語の主人公の気持ちを推測したり、その先の展開がどうなるのかを考えて予想したりすることができる。
- エ 悲しんでいる人の気持ちを思いやったり、傷ついた時は友に元気づけてもらいたいという心を持つことができる。
- オ 過去の時間について想像することで、他の動物とは違った人間ならではの理性を身につけることができる。

(八) 傍線部⑥「現在という時間は一瞬のことで長さがないのかもしれませんが」とあるが、そう言えるのはなぜか。その理由としてもっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 過去から現在、そして未来へと時間は流れていくが、現在という時間は一瞬の出来事ですぐに忘れ去られるから。
- イ 過去から現在、そして未来へと時間は流れていくが、過去だと思っている時間は次々と現在の時間に変化していくから。
- ウ 過去から現在、そして未来へと時間は流れていくが、未来のことだと思っていたことも、いつの間にか過去になっているから。
- エ 過去から現在、そして未来へと時間は流れていくが、過去や未来の出来事も、一瞬の間、現在の頭の中に思い浮かぶだけだから。
- オ 過去から現在、そして未来へと時間は流れていくが、人間の時間感覚は一瞬のことしか理解することができないから。

(九) 傍線部⑦「心の持ち方で時間の流れる速さが異なる」とあるが、筆者の言う「心の持ち方」に関する説明として、もっとも適切なものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 人間は、実際の物理時間に大きな差があったとしても、心のなかでは同じ時間しか経っていないような気になることがあるので、実際の時間の流れと時間感覚にはずれがあることに注意すると、時間の流れる速さを調整できる。

イ 我々は夢中になっていれば時間がはやく経ったと感じ、叱られている時間は永遠のように長く感じてしまうが、これは流れる時間の中にどのくらいの思いが詰まっているかの差なので、夢中になって過ごせば空白の時間は少なくなる。

ウ 叱られているときに何も考えずにぼんやり聞いていると感覚的に時間が速く過ぎるように思えるかもしれないが、ぼんやり聞いているともっと叱られることになるので、しっかりと集中してお説教を聞き、反省しなければならぬ。

エ みんな同じ時間を過ごしているように見えても、子どもと年をとった人とは時間の感じ方が違っており、年をとった人は時間がはやく経ったと感じるようになるので、老人はいろんなことにチャレンジすれば一日を長く過ごせるようになる。

オ 子どもはハツカネズミのように脈拍がはやく、自分が持っている時間が速く流れるので忙しく時間を過ごすが、ゾウのように脈拍がおそくなった老人の感覚では、時間が遅く流れるようになるので、何もしないまま時間だけが過ぎていってしまう。

③ 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。問題に字数制限のあるものは、すべて句読点や記号も一字とする。

著作権者の許諾が得られなかったため省略

著作権者の許諾が得られなかったため省略

著作権者の許諾が得られなかったため省略

【問題は以上で終わりです。】

①

問4	問1
ア	問2
イ	
ウ	問3
	エ
オ	
カ	

②

(六)	(三)	(二)	(一)
		A	d a
		B	e
(七)	(四)		
(八)	(五)	D	c
(九)			

③

(十)	(九)	(六)	(四)	(二)	(一)
	最初		X		d a
	(十一)		(七)		C
最後		D		(五)	
	(八)		B		

得点	
受験番号	

①

問4	問1
ア	ウ
7	問2
イ	ア
6	問3
ウ	ア・ウ
5	エ
3	オ
2	カ
	4

②

六	三	三	三	
		A	d	a
ア	エ	イ	整理	新幹線
七	四	B		
オ	ウ	ウ	e	拡大
八	五	c		b
エ	ア	ア		能率
		D		c
九		エ		同調
エ				

③

十	九	六	四	三	三	
	最初		X		d	a
エ	お	ア	食	ア	名	裏
十二	母	七	堂	三	札	
	さん	c		二目	e	b
ウ	か	行	居	こ	通	布地
	最後	か	間	こ	勤	
	の	D		ろ		c
	た	行	五	は		湯
	か	け	A	息		気
	ら	け	ウ	二目		
		八	B	そ		
		イ	オ	う		
				し		
				た		
				ら		

得点	
受験番号	